



平成 25 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社 ニ レ コ
 代 表 者 名 代表取締役社長 川路 憲一
 (JASDAQ コード番号 6 8 6 3)
 問 い 合 せ 先 常務取締役執行役員管理部門長
 長塚 寛
 (TEL 042-642-3111)

第 2 四半期 (累計) 連結業績予想と実績との差異
及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 8 月 9 日に公表いたしました平成 25 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 期間 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日) の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 5 月 17 日に公表いたしました、平成 26 年 3 月期 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日) の通期連結業績予想を修正する事としましたのでお知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期 (累計) 業績予想と実績の差異について

平成 26 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想と実績の差異 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,000	△ 50	△ 30	80	10.83
実績 (B)	3,100	79	105	193	26.22
増減額 (B - A)	100	129	135	113	—
増減率 (%)	3.3	—	—	141.3	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	3,356	119	153	102	14.03

差異の理由

当第 2 四半期累計期間の業績につきましては、売上高が平成 25 年 8 月 9 日に公表した業績予想の修正後、ウェブ事業を中心とした営業活動の強化などにより 1 億円程増加する事となりました。

また、営業利益については、当初想定していた利益率が全般的に低めであった事を主因として、前述の売上高の増加や経費圧縮の強化などの要因により、1.3 億円程増加しました。

経常利益、四半期純利益につきましては、概ね上記営業利益の増加によるものであります。

2. 通期連結業績予想の修正について

平成 26 年 3 月期通期連結業績予想（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,000	550	600	530	71.83
今回発表予想(B)	7,500	520	570	500	67.40
増減額(B-A)	△ 500	△ 30	△ 30	△ 30	—
増減率(%)	△ 6.3	△ 5.5	△ 5.0	△ 5.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	7,191	426	485	520	70.83

修正の理由

通期業績予想につきましては、第 2 四半期累計期間における売上高が、検査機事業における選果装置などの一部に第 3 四半期以降への売上時期のずれ込みがあったものの、当初想定していた以上に当社取引先が設備投資に極めて慎重な姿勢を継続した事から期初の予想に比べ大きく減少した実績となりました。

第 3 四半期以降においては、印刷業、紙加工業、電子部材メーカー、鉄鋼業及び化学工業などの当社取引先全般において、景気回復の流れの中で設備投資の動きが活発化すると想定しておりますが、第 2 四半期累計期間までの未達分を取り返すほどの急激な回復は見込めないと考えております。

以上の状況を踏まえ、通期の売上高を前回予想に比べ 5 億円下回る 75 億円に修正いたします。

また、利益につきましても売上高の減少に伴い、営業利益、経常利益及び当期純利益を各々 30 百万円減少する予想といたします。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上